

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	北海道開発局施設整備費		担当部局庁	北海道局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H6～		担当課室	予算課		予算課長 沖部 望	
会計区分	一般会計		政策・施策名	—			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	北海道総合開発を推進するため、庁舎執務環境の整備を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	北海道開発局庁舎における執務環境を改善するため、老朽化した施設の改修を図っている。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	291	281	267	254	254
	執行額	283	279	255	—	—	
	執行率(%)	97.6%	99.3%	95.8%	—	—	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	事業の内容は庁舎の改修であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	事業の内容は庁舎の改修であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)		()	()	()
							—
単位当たりコスト	—		算出根拠	年度により改修の内容が異なるため			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	254	254				
	計	254	254				

事業所管部局による点検			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	—	本事業は、北海道開発局庁舎の改修工事であり、国が実施すべき事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—	事業の実施に当たっては、一般競争入札により競争性を確保するとともに、事業目的に即した費目・使途に限定し執行を行っている。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—	
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業の実施に当たっては、設備仕様の見直しによりコスト削減を図っている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—	
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名
点検結果	施設の整備については、必要性及び緊急性を勘案し、真に必要な事業に限定して毎年度の改修計画を立てている。事業の実施に当たっては、電気設備改修工事における設備仕様の見直しによりコスト削減を図るなど、限られた予算の範囲で効率的かつ効果的な執行を行っている。		
	支出状況及び使途については、公共事業等施行状況調により定期的(毎月)に把握している。		

外部有識者の所見			

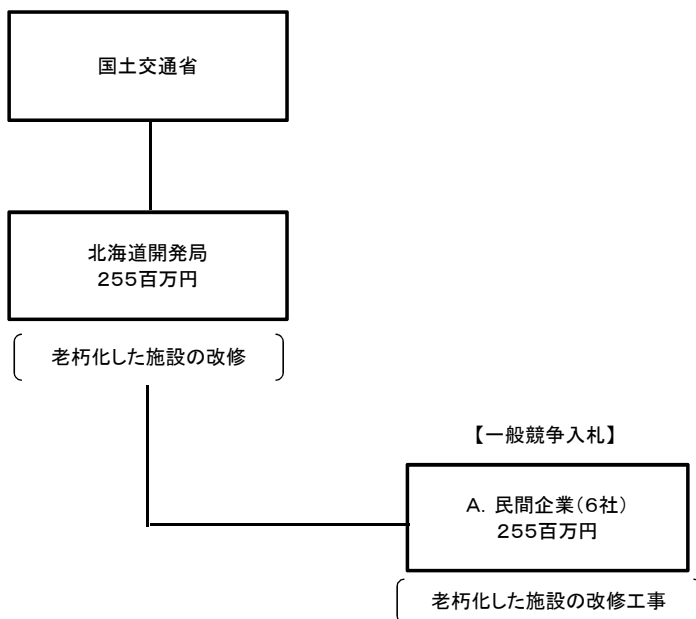
行政事業レビュー推進チームの所見			
事業内容の改善	施設の活用状況、老朽化の実状を把握して、計画的に補修・整備を進める。		
	引き続きコスト削減や、競争性・透明性の高い発注方法の実施に努める。		

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
削減	施設の整備に当たっては、必要性及び緊急性を勘案し、真に必要な事業に限定して毎年度の改修計画を立て実施している。また、実施においては、一般競争入札による競争性・透明性の確保やコスト削減に努めており、引き続き効率的・効果的な事業実施を図る。		

備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	415	平成23年	386	平成24年	415

※平成24年度実績を記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.末廣屋電気(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	工事	104			
計		104	計		
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		

支出先上位10者リスト

A.民間企業(6社)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	末廣屋電気(株)	電気設備工事	104	6	94.7%
2	加藤組土建(株)	建築工事	61	6	98.1%
3	NECネットエスアイ(株)	電話交換設備工事	33	1	96.3%
4	川股・昭栄・ニシカワ経常JV	機械設備工事	24	1	91.2%
5	アイグステック(株)	建築工事	21	2	87.8%
6	梶原電気工業(株)	電気設備工事	12	5	85.8%
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—